

令和元年度公立高等学校における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和元年12月1日現在とする。

集計結果

注1) 定時制及び通信制の課程はどちらも本調査の対象ではない。
分校がある場合は、分校と本校をまとめて1校とする。

注2) 本調査における「学校等」とは、高等学校及び中等教育学校後期課程のことを指す。

注3) 市町村(特別区及び学校を設置する事務組合を含む。以下同じ)

1. 調査対象学校及び学科について

1-(1) 調査対象学校数

学校数	3,343
-----	-------

1-(2) 調査対象学校における学科の数

高等学校設置基準第5条及び第6条の区分により学校に設置されている学科の数を記入

学科の区分	設置数	
①普通科	2,287	①：高等学校設置基準第6条第1項の学科の数 ②：高等学校設置基準第6条第2項第13号の学科のうち、英語教育を主とする学科及び第6条第2項第14号の学科の合計数 ③：高等学校設置基準第5条第2号の学科及び高等学校設置基準第6条第3項の学科の合計数
②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	141	
③その他の専門学科及び総合学科	2,156	
総学科数(①～③)	4,584	

2. 生徒の英語力に関すること

2-(1) 生徒の英語力の状況【生徒数を入力する。】

注1) 「英語能力に関する外部試験」及び「CEFR A2レベル以上」に該当するか否かについては、文部科学省ホームページにおける「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」(別添)などを参考にすること。

※上記対照表にない試験を元に判断してもよい。

注2) 「CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒の人数を指す。

判断方法の例

- ・2技能または3技能を測る試験におけるスコアを踏まえて判断
- ・公式な記録としては認定されない試験のスコア
- ・CAN-DOリストに基づくパフォーマンステストの結果 等

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	高等学校第3学年に所属している生徒数	(ア)のうち、英語能力に関する外部試験を受検したことがある生徒数	(イ)のうちCEFR A2レベル相当以上を取得している生徒数	(ア)のうちCEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数[(ウ)以外]	
①普通科	456,339 人	265,146 人	158,226 人	98,445 人	(ウ+エ)／(ア)
イ・ウ・エのAに占める割合		58.1%	34.7%	21.6%	56.2%
②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	9,224 人	8,185 人	6,793 人	1,619 人	(ウ+エ)／(ア)
イ・ウ・エのAに占める割合		88.7%	73.6%	17.6%	91.2%
③その他の専門学科及び総合学科	224,051 人	62,965 人	18,831 人	16,638 人	(ウ+エ)／(ア)
イ・ウ・エのAに占める割合		28.1%	8.4%	7.4%	15.8%
計(①～③)	689,614 人	336,296 人	183,850 人	116,702 人	(ウ+エ)／(ア)
イ・ウ・エのAに占める割合		48.8%	26.7%	16.9%	43.6%

2-(2) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況

【該当学科数を入力する。】

- 注1) 『「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標』とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を技能別に記述したものを指す。
- 注2) 「公表」とは、年度当初の英語の授業において学習到達目標を生徒に配付し、目標を共有することや、「学校だより」で紹介したり、学校のホームページに掲載したりなどすることで、生徒、保護者及び地域住民に広く伝えている状態のことを指す。
- 注3) 「達成状況の把握」とは、CAN-DOリストを活用した学習評価を行うこと等により、生徒が設定した学習到達目標を達成しているかどうかを教師が把握していることを指す。

	(ア)	(イ)	(ウ)
	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学科数	(ア)の内、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学科数	(ア)の内、学習到達目標の達成状況を把握している学科数
①普通科	2,197 学科	1,182 学科	1,343 学科
ア・イ・ウの学科の設置数に占める割合	96.1%	51.7%	58.7%
②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	138 学科	87 学科	95 学科
ア・イ・ウの学科の設置数に占める割合	97.9%	61.7%	67.4%
③その他の専門学科及び総合学科	2,066 学科	1,000 学科	1,203 学科
ア・イ・ウの学科の設置数に占める割合	95.8%	46.4%	55.8%
合計(①～③)	4,401 学科	2,269 学科	2,641 学科
ア・イ・ウの総設置数に占める割合	96.0%	49.5%	57.6%

3. 英語を使用する機会の増加に関すること

3-(1) 授業における、生徒の英語による言語活動時間の割合

※「外国語(英語)」の授業において、ペア・ワークやグループ・ワーク等を含めて生徒が英語で言語活動をしている時間の、1単位時間の授業に占める割合(%)【該当教師数を入力する。】

注1) ペア・ワークやグループ・ワーク等とは、生徒間での英語を用いたやり取りを基本とする。

ただし、教師が英語を用いて生徒とやり取りを行う時間等も含めること。

注2) 言語活動とは、現行の高等学校学習指導要領に規定されている言語活動のこと。「話すこと」だけでなく、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動も含む。

例1:「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

また、聞き手に伝わるように音読する。」「(コミュニケーション英語 I)の言語活動のイ)

例2:「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、

話し合ったり意見の交換をしたりする。」「(コミュニケーション英語 I)の言語活動のウ)

注3) 英語担当教師とは、調査時点で英語の授業を担当している者を指す。

注4) 該当学科ごとに、1単位時間(50分)で生徒が英語を用いて言語活動している時間のおおよその割合に当該科目を担当する教師数を記入すること。なお、授業を開設していない場合には記入を要しない。

①普通科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,599	6,630
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,822	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,805	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	404	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
24.1%
42.6%
27.2%
6.1%

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,491	6,803
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,905	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,989	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	418	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
21.9%
42.7%
29.2%
6.1%

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	940	6,003
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,204	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,111	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	748	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
15.7%
36.7%
35.2%
12.5%

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	926	6,616
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,442	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,362	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	886	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
14.0%
36.9%
35.7%
13.4%

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	987	8,621
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,895	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	3,355	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,384	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
11.4%
33.6%
38.9%
16.1%

◆普通科全体

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	5,943	34,673
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	13,268	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	11,622	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	3,840	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
17.1%
38.3%
33.5%
11.1%

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	24	43
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	11	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	8	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	0	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
55.8%
25.6%
18.6%
0.0%

(イ)「総合英語」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	266	494
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	156	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	64	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	8	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
53.8%
31.6%
13.0%
1.6%

(ウ)「異文化理解」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	227	333
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	60	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	40	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	6	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
68.2%
18.0%
12.0%
1.8%

◆英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	517	870
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	227	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	112	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	14	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
59.4%
26.1%
12.9%
1.6%

③その他の専門学科及び総合学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計	該当する英語担当教師数の合計に占める割合
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	508	4,166	12.2%
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,628		39.1%
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,666		40.0%
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	364		8.7%

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計	該当する英語担当教師数の合計に占める割合
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	467	3,945	11.8%
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,450		36.8%
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,616		41.0%
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	412		10.4%

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計	該当する英語担当教師数の合計に占める割合
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	144	1,317	10.9%
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	489		37.1%
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	485		36.8%
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	199		15.1%

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計	該当する英語担当教師数の合計に占める割合
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	276	2,459	11.2%
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	861		35.0%
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	992		40.3%
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	330		13.4%

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計	該当する英語担当教師数の合計に占める割合
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	167	1,362	12.3%
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	473		34.7%
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	511		37.5%
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	211		15.5%

◆その他の専門学科及び総合学科全体

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,562	13,249
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	4,901	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	5,270	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,516	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
11.8%
37.0%
39.8%
11.4%

◆全学科

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	8,022	48,792
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	18,396	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	17,004	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	5,370	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
16.4%
37.7%
34.8%
11.0%

◆科目別(①普通科と③その他の専門学科及び総合学科の合計)

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	2,107	10,796
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	4,450	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	3,471	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	768	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
19.5%
41.2%
32.2%
7.1%

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,958	10,748
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	4,355	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	3,605	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	830	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
18.2%
40.5%
33.5%
7.7%

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,084	7,320
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,693	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,596	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	947	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
14.8%
36.8%
35.5%
12.9%

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,202	9,075
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	3,303	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	3,354	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,216	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
13.2%
36.4%
37.0%
13.4%

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,154	9,983
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	3,368	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	3,866	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,595	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
11.6%
33.7%
38.7%
16.0%

◆①普通科と③その他の専門学科及び総合学科の合計

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	7,505	47,922
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	18,169	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	16,892	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	5,356	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
15.7%
37.9%
35.2%
11.2%

3-(2) 「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの状況

- 注1) 「実施回数」とは、当該学科・学年の生徒全員を対象としたテストの回数を指す。
 注2) スピーキングテストは、学習指導要領に基づく言語活動(ディベートやディスカッション、スピーチやプレゼンテーションなど)に沿った出題・評価とする。例えば、音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストに含めない。また、あらかじめ決められた台詞を言い合う活動も含めない。
 注3) ライティングテストは定期考査における出題も含む。ただし、学習指導要領に示す言語活動(例:「コミュニケーション英語Ⅰ」であれば、「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く」)などに沿った出題・評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題や単なる下線部訳は含めない。

①普通科における実施の有無及び実施回数

【本年度実施した、あるいは本年度中にパフォーマンステストを実施する計画が明らかにある場合は、「実施」の欄に「1」を入力する。それ以外は「実施なし」に「1」を入力する。】

	スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施	スピーキングテストのみ実施	ライティングテストのみ実施	両方実施なし	授業を開 設してい ない	「スピーキングテスト・ライ ティングテスト 両方実施」/設置数 (※「授業を開設してい ない」を除く)
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	1,055	510	394	292	36	46.9%
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	950	459	498	348	32	42.1%
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	471	243	716	539	318	23.9%
(エ)「英語表現Ⅰ」	774	170	965	273	105	35.5%
(オ)「英語表現Ⅱ」	584	65	954	181	503	32.7%
普通科全体	3,834	1,447	3,527	1,633	994	36.7%

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

		(ア) コⅠ	(イ) コⅡ	(ウ) コⅢ	(エ) 英表Ⅰ	(オ) 英表Ⅱ
スピー キング テスト	スピーチ	1,407	1,140	504	817	604
	インタビュー(面接)	1,625	1,551	588	926	511
	プレゼンテーション	1,075	1,066	454	718	583
	ディスカッション	192	175	175	114	137
	ディベート	149	191	116	124	178
	その他	343	283	124	128	69
スピーキングテスト総合計		4,791	4,406	1,961	2,827	2,082
ライティングテスト(エッセイ等)		3,943	4,127	2,936	5,470	5,952

※「両方実施なし」を選択した学科がある場合、その理由を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

--

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科における実施の有無及び実施回数

	スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施	スピーキング テストのみ実 施	ライティング テストのみ実 施	両方実施な し	授業を開 設してい ない	「スピーキングテスト・ライ ティングテスト 両方実施」/設置数 (※「授業を開設してい ない」を除く)
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	9	0	5	9	118	39.1%
(イ)「総合英語」	95	11	20	13	2	68.3%
(ウ)「異文化理解」	86	15	16	9	15	68.3%
英語教育を主とする学科及び国 際関係に関する学科全体	190	26	41	31	135	66.0%

※上記の項目において、実施した場合、次の項目に実施回数を記入(予定を含む)

		(ア) コⅠ	(イ) 総英	(ウ) 異理
スピー キング テスト	スピーチ	11	147	123
	インタビュー(面接)	9	106	78
	プレゼンテーション	12	152	190
	ディスカッション	8	40	50
	ディベート	2	34	51
	その他	6	48	27
スピーキングテスト総合計		48	527	519
ライティングテスト(エッセイ等)		54	497	362

※「両方実施なし」を選択した学科がある場合、その理由を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

--

③その他の専門学科及び総合学科における実施の有無及び実施回数

注) 専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く)が複数ある場合は、それぞれの学科について回答する。例えば、専門教育を主とする学科が2つあり、共に実施の場合は「実施」の欄に「2」と入力し、また、2つの学科が「実施」と「実施なし」の場合はそれぞれの欄に「1」を入力す

	スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施	スピーキングテストのみ実施	ライティングテストのみ実施	両方実施なし	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	783	561	391	374	47
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	641	439	390	355	331
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	181	94	232	231	1,418
(エ)「英語表現Ⅰ」	509	139	536	240	732
(オ)「英語表現Ⅱ」	209	30	273	79	1,565
その他の専門学科及び総合学科全体	2,323	1,263	1,822	1,279	4,093

「スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施」/設置数 (※「授業を開設していない」を除く)
37.1%
35.1%
24.5%
35.7%
35.4%
34.7%

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

注) 学科が複数ある場合は、全ての学科の実施回数の和を入力する。

		(ア) コⅠ	(イ) コⅡ	(ウ) コⅢ	(エ) 英表Ⅰ	(オ) 英表Ⅱ
スピーキング テスト	スピーチ	1,157	815	185	667	262
	インタビュー(面接)	1,674	1,184	253	744	190
	プレゼンテーション	843	849	230	522	231
	ディスカッション	65	82	72	62	38
	ディベート	38	58	20	57	58
	その他	319	225	82	114	20
スピーキングテスト総合計		4,096	3,213	842	2,166	799
ライティングテスト(エッセイ等)		3,047	2,836	1,000	2,989	1,734

※「両方実施なし」を選択した学科がある場合、その理由を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

◆全学科における実施の有無及び実施回数

	スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施	スピーキングテストのみ実施	ライティングテストのみ実施	両方実施なし	授業を開設していない
全学科	6,347	2,736	5,390	2,943	5,222

「スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施」/設置数 (※「授業を開設していない」を除く)
36.4%

◆科目別(①普通科と③その他の専門学科及び総合学科の合計)

	スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施	スピーキングテストのみ実施	ライティングテストのみ実施	両方実施なし	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	1,838	1,071	785	666	83
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	1,591	898	888	703	363
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	652	337	948	770	1,736
(エ)「英語表現Ⅰ」	1,283	309	1,501	513	837
(オ)「英語表現Ⅱ」	793	95	1,227	260	2,068
①と③全体	6,157	2,710	5,349	2,912	5,087

「スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施」/設置数 (※「授業を開設していない」を除く)
42.2%
39.0%
24.1%
35.6%
33.4%
35.9%

4. 英語担当教師の英語力・指導力等に関すること

4-(1) 英語担当教師の英語力の状況【該当教師数を入力する。】

注1) 「教師」とは、調査基準日時点において高等学校に所属し、外国語(英語)の免許状(免許状の種類は問わない)を所有し、かつ英語の授業を担当している者(校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師のことを指す。ただし、非常勤講師及び臨時的任用の者を除く。)

注2) 「英語能力に関する外部試験」及び「CEFR B2レベル以上」に該当するか否かについては、文部科学省ホームページにおける「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」(別添)などを参考にすること。

※上記対照表にない試験の成績を元に判断してもよい。

(ア)	(イ)	(ウ)
調査対象教師数	(ア)の内、英語能力に関する外部試験を受検した経験のある英語担当教師数	(イ)の内、CEFR B2レベル以上を取得している教師数
22,173 人	19,144 人	15,956 人
イ・ウのアに占める割合	86.3%	72.0%

4-(2) 授業における英語担当教師の英語使用状況【該当教師数を入力する。】

注) 英語担当教師とは、調査時点で英語の授業を担当している者を指す。

①普通科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている(75%程度以上～)	1,341	6,630
発話の半分以上を英語で行っている(50%程度以上～75%程度未満)	3,041	
発話の半分未満を英語で行っている(~50%程度未満)	2,248	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
20.2%
45.9%
33.9%

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている(75%程度以上～)	1,210	6,803
発話の半分以上を英語で行っている(50%程度以上～75%程度未満)	3,126	
発話の半分未満を英語で行っている(~50%程度未満)	2,467	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
17.8%
46.0%
36.3%

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている(75%程度以上～)	675	6,003
発話の半分以上を英語で行っている(50%程度以上～75%程度未満)	2,368	
発話の半分未満を英語で行っている(~50%程度未満)	2,960	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
11.2%
39.4%
49.3%

(エ)「英語表現Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている(75%程度以上～)	675	6,616
発話の半分以上を英語で行っている(50%程度以上～75%程度未満)	2,462	
発話の半分未満を英語で行っている(~50%程度未満)	3,479	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
10.2%
37.2%
52.6%

(オ)「英語表現Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	583	8,621
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,946	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	5,092	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
6.8%
34.2%
59.1%

◆普通科全体

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	4,484	34,673
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	13,943	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	16,246	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
12.9%
40.2%
46.9%

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	27	43
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	14	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	2	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
62.8%
32.6%
4.7%

(イ)「総合英語」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	230	494
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	204	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	60	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
46.6%
41.3%
12.1%

(ウ)「異文化理解」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	206	333
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	89	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	38	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
61.9%
26.7%
11.4%

◆英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	463	870
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	307	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	100	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
53.2%
35.3%
11.5%

③その他の専門学科及び総合学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	405	4,166
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,700	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	2,061	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
9.7%
40.8%
49.5%

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	350	3,945
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,597	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1,998	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
8.9%
40.5%
50.6%

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	115	1,317
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	539	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	663	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
8.7%
40.9%
50.3%

(エ)「英語表現Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	210	2,459
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	854	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1,395	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
8.5%
34.7%
56.7%

(オ)「英語表現Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	107	1,362
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	473	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	782	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
7.9%
34.7%
57.4%

◆その他の専門学科及び総合学科全体

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	1,187	13,249
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	5,163	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	6,899	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
9.0%
39.0%
52.1%

◆全学科

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	6,134	48,792
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	19,413	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	23,245	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
12.6%
39.8%
47.6%

◆科目別(①普通科と③その他の専門学科及び総合学科の合計)

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	1,746	10,796
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	4,741	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	4,309	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
16.2%
43.9%
39.9%

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	1,560	10,748
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	4,723	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	4,465	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
14.5%
43.9%
41.5%

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	790	7,320
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,907	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	3,623	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
10.8%
39.7%
49.5%

(エ)「英語表現Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	885	9,075
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	3,316	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	4,874	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
9.8%
36.5%
53.7%

(オ)「英語表現Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	690	9,983
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	3,419	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	5,874	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
6.9%
34.2%
58.8%

◆①普通科と③その他の専門学科及び総合学科の合計

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	5,671	47,922
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	19,106	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	23,145	

該当する英語担当教師数の合計に占める割合
11.8%
39.9%
48.3%

5. 外国語指導助手(ALT)等の活用状況

注) 各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられるが、本調査における「外国語指導助手(ALT)」とは、英語の授業などで、計画的・継続的に活用している人物を指す。英語以外の外国語を担当するALTは含めないこと。

5-(1) ALT等の活用人数の状況【赤枠内は教育委員会が回答する。】

注1) 人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答すること。

注2) 「(a)高等学校におけるALT等活用人数」とは、中学校等と兼務している人数も含む。同一のALTが複数の高等学校で活用されている場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントすること。

注3) 「(イ)自治体が独自に直接任用しているALT」とは、JETプログラム以外で教育委員会が直接任用契約を結んでいるALTのこと。

注4) 「(ウ)派遣契約によるALT」とは、派遣先(教育委員会)と派遣契約を結んだ派遣元(会社)により派遣されるALTのこと。

注5) 「(エ)請負契約によるALT」とは、注文主(教育委員会)と請負契約を結んだ請負業者(会社)により派遣されるALTのこと。

注6) 「その他のALT等」とは、ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材で、以下の(ア)～(オ)に該当しない者が含まれる(日本人、留学生等も含む)。なお、「その他のALT等(日本人)」とは、第一言語を日本語とする者とし、「その他のALT等(外国人)」とはそれ以外の者とする。

	(a)	(b)	(c)	(d)
	高等学校におけるALT等活用人数	(a)のうち、小学校とのみ兼務するALT等活用人数	(a)のうち、中学校とのみ兼務するALT等活用人数	(a)のうち、小学校及び中学校と兼務するALT等活用人数
(ア)JETプログラムによるALTの人数	1,707 人	4 人	78 人	13 人
(イ)自治体が独自に直接任用しているALTの人数	478 人	5 人	17 人	26 人
(ウ)派遣契約によるALTの人数	343 人	1 人	5 人	1 人
(エ)請負契約によるALTの人数	108 人	0 人	8 人	1 人
(オ)上記の他、「補習等のための指導員派遣事業」のうち、高等学校英語で活用している人数	0 人	0 人	0 人	0 人
(カ)その他のALT等の人数(日本人)	6 人	0 人	0 人	1 人
(キ)その他のALT等の人数(外国人)	141 人	3 人	3 人	20 人
計	2,783 人	13 人	111 人	62 人

(a)の合計に占める割合
61.3%
17.2%
12.3%
3.9%
0.0%
0.2%
5.1%

5-(2) ALTの任用・契約形態の状況 **【教育委員会が回答する。】**

注1) 複数回答可。

注2) 英語以外の外国語を担当するALTは含まないこと。

注3) 「その他の方法によりALTを活用している自治体の数」には、5-(1)の(オ)～(キ)でALTを活用している学校を設置する自治体の数を回答すること。

	都道府県	指定都市	市町村
JETプログラムによりALTを任用している自治体の数	42	9	39
独自でALTを直接任用している自治体の数	11	8	22
派遣契約によりALTを活用している自治体の数	5	6	8
請負契約によりALTを活用している自治体の数	5	1	3
その他の方法によりALTを活用している自治体の数	10	5	2

5-(3) 「請負契約」によりALTを活用している自治体における、高等学校に対するALTの活用に関する留意事項の周知状況について **【教育委員会が回答する。】**

【該当する欄に「1」を入力する。複数回答可。】

外国語指導助手の請負契約による活用について(業務内容の確認及び外国語会話の実演)(平成26年8月27日26初国教大92号)の内容について	都道府県 指定都市	平成31年4月以降に学校に文書により通知	平成31年4月以降に校長等管理職を対象とする会議で通知の内容を周知	平成31年4月以降に各学校の担当者を対象とする会議で通知の内容を周知	平成31年4月以降に学校へは周知していない
	都道府県 指定都市	2	2	6	0
	市町村	1	1	1	2

5-(4) 「派遣契約」によりALTを活用している自治体における、ALTの労働時間の把握状況について **【教育委員会が回答する。】**

派遣契約によるALTを活用している教育委員会において、ALTの労働時間の把握状況について、集計する。また、把握していない場合は、その理由をそれぞれ記入すること。

【該当する欄に「1」を入力する。】

		派遣契約によるALTの労働時間について	⇒	労働時間を把握していない理由
都道府県 指定都市	把握している	11		
	把握していない	0		
市町村	把握している	8		
	把握していない	0		

5-(5) 総授業時数における、ALT等の活用状況について(令和元年度計画値)

注1) 総授業時数(計画値)のなかで、ALT等の活用授業の割合を下記の選択肢から選択し、該当する欄に「1」を入力すること。
計算した結果によって生じた小数点第3位以下は、全て切り捨てること。

例) 1年生、2年生、3年生の年間総授業時数(計画値)がそれぞれ140時間の場合

$$140時間 \times 3学年 = 420時間$$

その内、ALTを活用する授業が1年生が70時間、2年生が60時間で、3年生が50時間の場合

$$(70時間 + 60時間 + 50時間) \div 420時間 = 0.428 \approx 42\% \cdots = 41 \sim 60\%$$

注2) 外国語(英語)の授業以外(総合的な学習の時間・特別活動等)の時数は含めないこと。

注3) 英語以外の外国語の授業時数は含めないこと。ただし、外国語(英語)に関する選択科目や学校設定科目は含む。

①普通科

外国語授業の年間総授業時数に対するALT等活用の割合							
総授業時数(計画値)の内、ALT等を活用する授業時数の割合	0%	1-20%	21-40%	41-60%	61-80%	81-99%	100%
		54	1,449	581	150	37	12
全体に占める割合	2.4%	63.4%	25.4%	6.6%	1.6%	0.5%	0.2%

回答学科数
2,287
全体平均 (各階級値を0、10.5、30.5、50.5、70.5、90、100として算出)
19.5%

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科

外国語授業の年間総授業時数に対するALT等活用の割合							
総授業時数(計画値)の内、ALT等を活用する授業時数の割合	0%	1-20%	21-40%	41-60%	61-80%	81-99%	100%
		3	32	49	36	13	6
全体に占める割合	2.1%	22.7%	34.8%	25.5%	9.2%	4.3%	1.4%

回答学科数
141
全体平均 (各階級値を0、10.5、30.5、50.5、70.5、90、100として算出)
37.6%

③その他の専門学科及び総合学科

外国語授業の年間総授業時数に対するALT等活用の割合							
総授業時数(計画値)の内、ALT等を活用する授業時数の割合	0%	1-20%	21-40%	41-60%	61-80%	81-99%	100%
		137	1,185	640	149	31	9
全体に占める割合	6.4%	55.0%	29.7%	6.9%	1.4%	0.4%	0.2%

回答学科数
2,156
全体平均 (各階級値を0、10.5、30.5、50.5、70.5、90、100として算出)
19.9%

◆全学科

外国語授業の年間総授業時数に対するALT等活用の割合							
総授業時数(計画値)の内、ALT等を活用する授業時数の割合	0%	1-20%	21-40%	41-60%	61-80%	81-99%	100%
	194	2,666	1,270	335	81	27	11
全体に占める割合	4.2%	58.2%	27.7%	7.3%	1.8%	0.6%	0.2%

回答学科数
4,584
全体平均 (各階級値を0、10.5、30.5、50.5、70.5、90、100として算出)
20.3%

5-(6) ALT等の活用の具体的状況

【該当する欄に「1」を入力する。各項目につき(a)～(c)のいずれか1か所に必ず入力すること。】

①普通科

		(a)	(b)	(c)	[(a)+(b)]/[(a)+(b)+(c)]
		積極的に活用した(する)	時々活用した(する)	活用してない	
(ア)	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	1,644	550	93	95.9%
(イ)	パフォーマンステスト等の補助	1,374	548	365	84.0%
(ウ)	生徒のやり取りの相手	1,603	598	86	96.2%
(エ)	発音のモデル・発音指導	1,488	661	138	94.0%
(オ)	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	1,594	569	124	94.6%
(カ)	外国語(英語)の授業外での生徒との交流	1,046	859	382	83.3%

95.9%
84.0%
96.2%
94.0%
94.6%
83.3%

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科

		(a)	(b)	(c)	[(a)+(b)]/[(a)+(b)+(c)]
		積極的に活用した(する)	時々活用した(する)	活用してない	
(ア)	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	122	13	6	95.7%
(イ)	パフォーマンステスト等の補助	122	13	6	95.7%
(ウ)	生徒のやり取りの相手	120	15	6	95.7%
(エ)	発音のモデル・発音指導	116	19	6	95.7%
(オ)	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	128	8	5	96.5%
(カ)	外国語(英語)の授業外での生徒との交流	103	30	8	94.3%

95.7%
95.7%
95.7%
95.7%
96.5%
94.3%

③その他の専門学科及び総合学科

		(a)	(b)	(c)	[(a)+(b)]/[(a)+(b)+(c)]
		積極的に活用した(する)	時々活用した(する)	活用してない	
(ア)	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	1,373	599	184	91.5%
(イ)	パフォーマンステスト等の補助	1,026	563	567	73.7%
(ウ)	生徒のやり取りの相手	1,347	621	188	91.3%
(エ)	発音のモデル・発音指導	1,378	578	200	90.7%
(オ)	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	1,194	693	269	87.5%
(カ)	外国語(英語)の授業外での生徒との交流	735	879	542	74.9%

91.5%
73.7%
91.3%
90.7%
87.5%
74.9%

◆全学科

		(a)	(b)	(c)	[(a)+(b)]/[(a)+(b)+(c)]
		積極的に活用した(する)	時々活用した(する)	活用していない	
(ア)	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	3,139	1,162	283	93.8%
(イ)	パフォーマンステスト等の補助	2,522	1,124	938	79.5%
(ウ)	生徒のやり取りの相手	3,070	1,234	280	93.9%
(エ)	発音のモデル・発音指導	2,982	1,258	344	92.5%
(オ)	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	2,916	1,270	398	91.3%
(カ)	外国語(英語)の授業外での生徒との交流	1,884	1,768	932	79.7%

6. 英語教育に関する小学校・中学校との連携の状況 (令和元年度実績)

6-1) 英語教育に関する小学校・中学校との連携の有無

	連携した(する)	連携しなかった(しない)	合計	連携した(する)/学校数
英語教育に関する小学校・高等学校の連携	468	2,875	3,343	14.0%
英語教育に関する中学校・高等学校の連携	993	2,350	3,343	29.7%

6-2) 英語教育に関する小学校・中学校との連携の取組内容

【(1)で「実施した(する)」と回答した学校のみ回答。該当する欄に、「学校数」を入力する。複数回答可。】

情報交換(指導方法等についての検討会、合同研修の実施等)	627
交流(異校種の授業参観、高等学校の外国語担当教員による小学校や中学校での授業等)	917
その他(以下に具体的に記入)	182

※「その他」を選択した学校は、その内容を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

7. 英語の授業におけるICT機器の活用状況(令和元年度実績)

7-(1) 英語の授業におけるICT機器活用の有無【該当する欄に「学校数」を入力する。】

令和元年度実績	活用した(する)	活用しなかった(しない)
	3,067	276

活用した(する)/学校数
91.7%

(1)の令和元年度実績で、「活用した」と回答した学校のみ(2)に回答する。

7-(2) 外国語(英語)教育に係る授業におけるICT機器の活用状況

【該当する欄に「学校数」を入力する。】

		(a)	(b)	(c)
		積極的に活用した(する)	時々活用した(する)	活用していない
(ア)	教師がデジタル教材等を活用した授業	1,764	1,208	95
(イ)	生徒がパソコン等を用いて発表や話すことにおけるやり取りをする活動	432	1,151	1,484
(ウ)	生徒が発話や発音などを録音・録画する活動	227	917	1,923
(エ)	生徒がキーボード入力等で書く活動	217	779	2,071
(オ)	生徒が電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動	58	242	2,767
(カ)	生徒が遠隔地の児童生徒等と英語で話をして交流する活動	50	146	2,871
(キ)	遠隔地の教師やALT等とチームティーチングを行う授業	65	144	2,858
(ク)	生徒が遠隔地の英語に堪能な人と個別に会話を行う活動	52	141	2,874

[(a)+(b)]/学校数
88.9%
47.4%
34.2%
29.8%
9.0%
5.9%
6.3%
5.8%